

2022 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅱ 実施要項

(構成団体資格を有する者)



一般社団法人

日本スクールカウンセリング推進協議会

Japan School Counseling Association

資格認定試験Ⅱ 申請のご案内

1. 受験資格

資格認定試験Ⅱを受験するためには、次のAとBの両方の条件を満たしている必要がある。

- A. 一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会の構成団体資格を有し、4つの能力（個別対応、グループ対応、アセスメント、コーディネーション・コンサルテーション）すべてを有する者。
- B. 下記のうちいずれかの実績を有する者。
1. ガイダンスカウンセリングに関する実務経験を10年以上有する者
 2. 学校・地域において、生徒指導、進路指導、教育相談で主導的役割を果たしている者
 3. 教育行政においてガイダンスカウンセリングに関して主導的役割を果たしている者
 4. 管理職としてガイダンスカウンセリングに関して主導的役割を果たしている者
 5. 著書・論文等でガイダンスカウンセリング分野の業績を有する者

注：Bの2.により申請する場合の「主導的役割」とは、職場のメンバーの一員として個人の業務に従事するだけでなく、職場のリーダーとして複数のメンバーを管理したり、とりまとめたりする活動を指す。申請書にはそれが具体的に読み取れるように記載する。例えば、「3名の部下を束ねて業務を遂行し、ケース会議を行っている」など。

2. 審査内容

- ①**一次審査**：構成団体が、申請書類にもとづき、構成団体資格、実践に資する4つの能力、実績等を審査し、推薦の可否を判定する。
- ②**二次審査**：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会が、構成団体からの推薦を受けて、合否を判定の上、認定する。

3. 申請手順

- ①**申請期間**：各構成団体の定めた期間（9月上旬のところが多い）。
※詳しくは、構成団体に問い合わせること。
- ②**申請書類**：申請にあたっては、以下の1～3の書類を提出する。各書類の記入は、3～4頁の記入方法を参考とすること。
 1. ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅱ申請書 様式 22_Ⅱ-1
 2. 実務経験の自己申告書 様式 22_Ⅱ-2
 3. ガイダンスカウンセラーとして実践可能な能力と領域 様式 22_Ⅱ-3
- ③**申請料納入**：申請料10,000円を、構成団体の指定に従って納入する。
- ④**申請書類の提出**：構成団体の指定に従って、申請書類一式を郵送する。

4. 資格登録

- ①**登録**：合格者が，合格通知とあわせて郵送される振込用紙によって登録料と年会費を支払うことで，登録申請とする。
- ②**登録料**：10,000 円。
- ③**年会費**：2 年分 10,000 円（2023 年度，2024 年度分）。

5. 資格更新

本資格に登録した者は，10 年経過する毎に資格更新の審査を経て資格更新をすることができる。資格更新がなされない場合は，ガイダンスカウンセラーの資格を失う。資格更新の手続きは，「ガイダンスカウンセラー資格認定規定細則」の定めによる。

5. 問合せ

申請に関する問い合わせは，構成団体資格を発行している団体事務局にて受け付ける。

〔構成団体と構成団体資格〕

「学校カウンセラー」 一般社団法人日本学校教育相談学会

「学校心理士」 日本学校心理士会

「キャリア・カウンセラー」 日本キャリア教育学会

「教育カウンセラー〔上級〕」 NPO 法人日本教育カウンセラー協会

「カウンセリング心理士（認定カウンセラー）」 一般社団法人日本カウンセリング学会

「臨床発達心理士」 臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会

ガイダンスカウンセラー資格に関する問合せは，一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会事務局あての電話・ファックス・メールにて受け付ける。

TEL：03-3941-8049 FAX：03-3941-8116 E-mail：info@jsca.guide

ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅱの提出書類の記入方法

1. 2022年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅱ申請書 様式22_Ⅱ-1

- ①名前は自筆で記入する。
- ②定年等で現在の勤務先がない場合は、「元〇〇市立〇〇小学校教諭」のように、最終の所属および職名（役職名）、所在地等を具体的に記入する。
- ③学歴については、学部と大学院の両方を記入する。3月に大学院を修了見込みの場合は、見込みを○で囲む。
- ④「教育職員免許」については、例えば「中学校教諭一種免許状（社会）」のように記入する。免許状番号・授与年月日・授与権者を正確に記入する。
- ⑤構成団体資格については、全てチェックする。認定番号・認定年月あるいは加入年月を西暦で正確に記入する。

2. 実務経験の自己申告書 様式 22_Ⅱ-2

- ①「実務経験一覧表」と「実務経験申告書」の両方を記入する。
- ②「実務経験一覧表」の「教員 A」については、学級担任、管理職など教員としての全勤務期間を書き出す。「勤務先・役職・担当」は、例えば「東京都中央区立〇〇小学校教諭,学級担任」, 「東京都中央区立〇〇小学校副校長」のように、具体的に記入する。
- ③「実務経験一覧表」の「教員 B」については、「教員 A」の期間内で特にガイダンスカウンセリングの業務に関連した分掌について記入する。例えば、「東京都中央区立〇〇小学校教諭,教育相談部」のように、具体的に記入する。
- ④教員以外の実務経験については、例えば、「〇〇県立教育センター教育相談チーム」(教育委員会教育センター等の場合)のように、具体的所属と役割を明確に記入する。複数の勤務歴のある場合は,すべて書き出す。非常勤の場合は、「非常勤,週2日」等と付け加える。
- ⑤大学・短大・専修学校等に勤務する教員は、担当する授業科目名や付属する相談所の名前・役職を明記する。
- ⑥電話相談員・巡回相談員等は、「その他」の欄に記入する。
- ⑦兼任・非常勤などで、同じ年に複数の勤務経験のある場合は、それぞれ書き分ける。
- ⑧「実務経験申告書」は、ガイダンスカウンセリングの業務を遂行する熱意と資質の有無を判定するための大切な資料であるため、特に、下の点に留意し記述する。
 - 1) 様式 21_Ⅱ-3 の表に印を付けた主な項目について、具体的に記述する。勤務先・職名、期間を明記し、どのような問題か、どのようなアセスメントを行ったのか、どのような対応をしたのか、誰からスーパーバイズを受けたのか等について、その経過を具体的に記述すること。例えば、単に「不登校」「いじめ」「WISC-IV」などの用語だけでは不十分である。
 - 2) 受験資格の B 条件 2. (主導的役割) により申請する場合は、職場のメンバーの一員として個人の業務に従事するだけでなく、職場のリーダーとして複数のメンバーを管理したり、とりまとめたりして活動していることが具体的に読み取れるように記述すること。例え

ば、「3名の部下を束ねて業務を遂行し、ケース会議を行っている」など。

3) 記述にあたっては、個人情報の漏洩のないよう、十分に配慮すること。

3. ガイダンスカウンセラーとして実践可能な能力と領域 様式 22_II-3

①領域と能力について、これまでに実践したり研修を受けたりしたことの◎○△を、それぞれの欄に記入する。

◎：これまでに何度も経験したことがある。

○：大学・大学院で指導を受けたり、研修会に参加したりしたことがあり、要望があれば対応できる。

△：経験がないため、対応が難しい。

②取り扱った経験のある領域は、抜かさず印を付ける。

③様式 21_II-3 の縦横のマトリックスを見通し、次の2点を確認する。

(但し、全てのセルに○印の必要はない)。

1) 各領域を横に見て、どの能力にも○印がないものはないか。例えば、「学業面」について、個別対応、グループ対応、アセスメント、コーディネーション・コンサルテーションのいずれも体験がない者、学んだことがない者となる。この場合、ガイダンスカウンセラーとして対応できない領域があると判定される。

2) 縦軸で○印のついていない能力はないか。例えば、ある領域の問題について相談室で個別対応はしたことがあるが、教室の集団に対してグループ対応の体験がどの領域についてもないという者の場合、ガイダンスカウンセラーとして仕事をするとき、必要な能力に偏りがあると判定される。

※申請にあたっては、『ガイダンスカウンセラー入門』（図書文化社）を参照されることを推奨する（書籍概要は5頁）。

受験にあたっては本書を必読してください

ガイダンスカウンセラー入門 **スクールカウンセリング推進協議会編著**

定価：1,540 円（税込）判型：A5 判,128 ページ

目次

- 第1章 日本におけるガイダンスカウンセリングの起こり
- 第2章 スクールカウンセリング推進協議会
- 第3章 ガイダンスカウンセリングとガイダンスカウンセラー
- 第4章 ガイダンスカウンセリングを支える学問
- 第5章 臨床心理士とガイダンスカウンセラー、スクールソーシャル
ワーカーの資格の相違
- 第6章 ガイダンスカウンセラーの今後の課題
- 第7章 資格認定の考え方と方法
- 第8章 ガイダンスカウンセラーの自学自習
- 第9章 ガイダンスカウンセラーとガイダンスカウンセリングの実際

刊行：図書文化社

2022 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅱ実施要項

2022 年 7 月 1 日発行

発行元：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

理事長：石隈 利紀

所在地：〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15 アトラスタワー茗荷谷 3F

FAX：03-3941-8116 E-mail：info@jsca.guide URL: <http://jsca.guide/>